

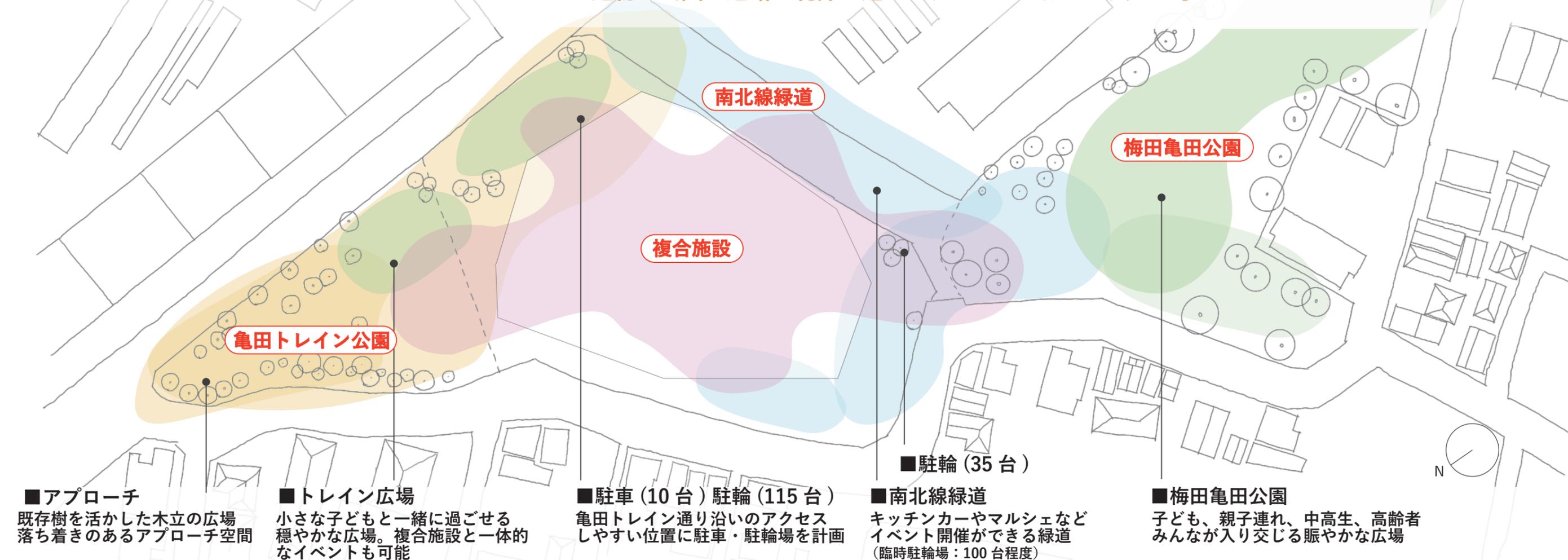
梅田八丁目複合施設 全体コンセプト

1 | 世代を繋ぎ、居場所を育て続ける「本の里」

— みんなでつくる、「多様な活動」の集積としてのまちの拠点

2 | 屋根のある公園・屋根のない複合施設

— 建物・公園・道路の境界を越えて、まちいっばいに広がる学び



広場イメージ



出典：https://www.3zu0.com/urbanes/schoepfwerk-park-wien/



出典：https://www.gp-b.com/rathbone-square

活動の場イメージ



南北線緑道イメージ



出典：https://austindesignweek.org/blog/the-transforming-landscape-of-urban-design-in-austin

平面図 (案) 1F 活動を「やってみる」

- フロア全体が屋外と連続して使用できるように、「やってみる」フィールドとして一体的に設計します。
- 中央に「交流ひろば」を設け、周囲に活動エリアを回廊状に設けます。
- 室ではなくエリアとして捉え、エリアをまたいだ重ね使いが可能です。

閲覧席数：200席程度

- 図書館
- 子育てサロン
- NPO 活動支援センター
- 共用

NPO 活動はまとまった区画をつくらず館内に点在
→多様な出会いをうむきっかけをつくる

緑道沿いに開き、
街路と一体となった活動を展開できるラウンジ空間

南北線緑道

梅田亀田公園からアクセス

庇の下で雨に濡れず
に乗り降りができる

駐車・駐輪場

駐輪場

一体的に利用

梅田亀田公園側エントランス
動線上にカフェを設け、
「交流ひろば」でのイベント
時にも提供可

一体的に利用

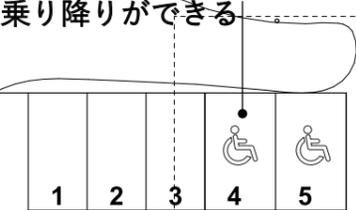
トレイン広場

亀田トレイン公園

広場と一体的に利用が可能な、
キッズライブラリー
本の保護に配慮し、日射の安定
した北側に配置

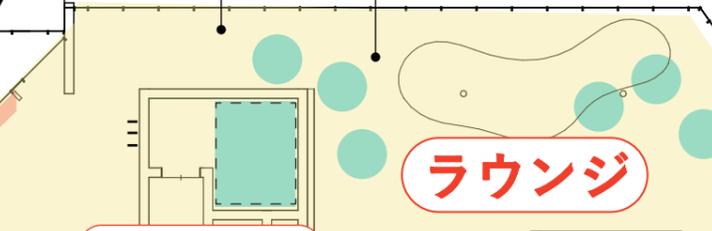
多目的エリアは中心に置いて、各方面から重ね使いができる
さまざまな「やってみる」活動の場となるように計画

日当たりの良い南側のカフェ沿いに、
子育てサロンを配置



出入口

出入口



ラウンジ

エレベーター

親子トイレ
+授乳室

交流ひろば

カフェ

カウンター

子育てサロン

トイレ

畑

キッズライブラリー

出入口

N

